

林委員

資格に関するコメントを以下に記載致します。これまで申し上げてきた内容ではありますが、本日（12月17日）欠席致しますことから、不十分ではございますが、改めて提出致します。

林浩康

・新たな独立した資格の創設には、大学等での対応、あるいは各現場サイドの人材確保の観点から課題を感じます。私の本務校では、社会福祉士の新カリキュラム対応のために、精神保健福祉士養成を取りやめ、社会福祉士養成に絞って取り組んでおりますが、小規模校ではそれでも対応が困難な状況であり、独立した新たな資格養成に取り組むことは、極めて困難な状況です。

・学生の立場からも、採用時段階での影響の不透明性や、取得科目の負担感等を考慮し、実際に取得を志す学生は非常に限定した数になるかと思います。独立資格となると、さらにそうした傾向が顕著となると推測されます。

・大学運営の面からも、費用対効果や精神保健福祉士取りやめとの整合性等を考慮し独立資格への対応、すなわち新たな独立資格養成に向けた新たな専任教職員や、非常勤教職員の採用は非常に困難な状況です。

・各現場における人材確保、養成校における対応、学生の取得可能性等といった総合的観点から、社会福祉士等既存資格に上乗せする形での導入が現実的折り合い案と思います。

・あるいは資料2の案2にございますように、まずは現任者等を中心に考える案が妥当かと思います。